情報労連

2017年度	書記長談話　No.008	2018.1.25　16：00
		中央本部　企画・総務部

在日米軍ヘリの度重なる事故・トラブルについて

１．１月２３日（火）夜、沖縄米軍普天間基地所属のＡＨ１攻撃ヘリコプターが沖縄県渡名喜村の村営ヘリポートに不時着した。けが人はいないとの報道ではあるが、このヘリポートは本来、村民の救急搬送などに使用されるものであり、村民の日常が脅かされる事態は、極めて遺憾である。

２．同基地所属の米軍ヘリの不時着は、今年に入ってすでに３度目であり、昨年来の事故・トラブルの続発をふまえれば極めて異常な事態である。度重なる事故・トラブルに対して、この間、何ら安全危機管理や再発防止策が施されていないと言わざる得ず、こうした米国政府・米軍の姿勢を許すことはできない。

　日本政府は度重なる事故・トラブルを重く受け止め、県民の暮らしの安全を確保するため、強い姿勢で米国政府と米軍に対して、すべての航空機の総点検と、安全が確実に担保されるまでの即時飛行停止を要請すべきである。

３．情報労連は、引き続き連合や各組織と連携し、『沖縄の痛みと現状』を情報労連に結集するすべての加盟組合と共有するとし、２０１８平和行動等を通じて、「日米地位協定の抜本的見直し」および「米軍基地の早期整理・縮小」を求める取り組みを継続していく。

以　上